



生活習慣病としての骨粗鬆症

循環器内科（血管内治療科）部長

西堀 祥晴

循環器内科医が骨粗鬆症の話、というと意外に思われるかもしれませんが。しかし、循環器疾患と骨、骨粗鬆症には深い関係があります。

骨から溶けだしたカルシウムが血管に沈着し石灰化を生じることが、今から50年前、既に「カルシウム・パラドックス」として報告されています。最近ではこれを「骨・血管連関」と呼ばれるようになりましたが、その詳細な機序はまだ明らかになっていません。こうして生じた血管の石灰化は冠動脈インターベンション(PCI)や末梢動脈疾患に対する血管内治療(EVT)の手術成功率や遠隔期成績を低下させることが知られています。また、骨粗鬆症があると、心血管イベントのリスクが3.5倍になるという報告があり、高血圧症の2.6倍や脂質異常症の1.9倍よりも高いリスクです。

また最近、人口の高齢化により心不全患者が急増しており、このことは心不全パンデミック(大流行)と呼ばれ、大きな問題となっています。この心不全も骨粗鬆症と深い関係があります。骨の強さの指標に骨密度というのがあります。骨密度の高いグループの方が、心不全の発症率が低いとの報告があり、逆に心不全があると骨折リスクが6倍になるという報告もあります。現在、本邦の骨粗鬆症患者数は1,280万人、もしくはそれ以上と言われ、国民の10人に1人にあたります。そして骨粗鬆症をベースにした「転倒・骨折」は、介護が必要となる大きな原因となっています。

骨粗鬆症診療の最大の問題点は、適切な治療を受けている患者さんの割合が低いことです。正確な統計はありませんが、本邦の骨粗鬆症患者のうち、治療を受けているのは20～30%程度と言われ、10年前から大きな改善は認めません。骨粗鬆症患者のほとんどは無症候であることから、自分から

骨の精査を求め医療機関を受診することは多くありません。そういった患者でも、高血圧などの生活習慣病で医療機関には通院している

ものです。欧米では、骨粗鬆症を家庭医や一般内科医と呼ばれる医師が診療するようになり、骨折発生数が減少したとの報告がありま

す。本邦においても、これからは生活習慣病診療に従事する内科系医師がもっと積極的に骨粗鬆症診療に取り組む必要があると思われます。骨粗鬆症と高血圧などの生活習慣病には多くの共通点があります(図1)。また20年前と違い、確実に骨折を予防できる薬ができました。それらの骨折予防効果は脂質異常症に用いるスタチン製剤の心血管予防効果と遜色ありません。

骨粗鬆症による脆弱性骨折には、手首(橈骨遠位端)、肩(上腕骨近位部)、背骨(椎体骨)、足の付け根(大腿骨近位部)の4カ所があります。またそれぞれに好発年齢があります。50歳代から橈骨遠位端骨折と上腕骨近位部骨折が、60歳代から椎体骨折が、70歳代から大腿骨近位部骨折が増加します。この大腿骨近位部骨折は、寝たきり、要介護の原因となり、骨折後1年で20～25%の方が、5年で50%の方が亡くなると報告される予後不良の骨折です。40歳以上の女性において、全国市町村の中で兵庫県が大腿骨近位部骨折の発生率が最も高い県(ワーストワン)と報告されました。骨粗鬆症による脆弱性骨折は繰り返すことが知られ、このことは「骨折の連鎖」と呼ばれています。最初から、すべての骨粗鬆症患者を治療するのは難しい話です。まずは骨粗鬆症を生活習慣病のひとつとしてとらえ(図2)、椎体圧迫骨折や大腿骨近位部骨折の既往のある患者の骨折再発予防から始めてゆきましょう。本年4月に新しく骨密度の機械が導入されました。宜しくお願ひ致します(図3)。

図2. 生活習慣病としての骨粗鬆症

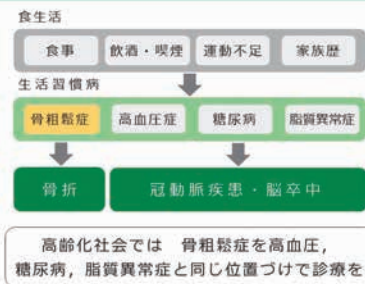


図1. 骨粗鬆症と生活習慣病の比較

	骨粗鬆症	生活習慣病
既往歴	関係あり	関係あり
家族歴	関係あり	関係あり
食事	塩分, 低Caなど	塩分, 糖分, 脂質
嗜好	喫煙, 飲酒	喫煙
運動不足	関係あり	関係あり
検査	X線, 血液検査, 骨密度	X線, 血液検査, 血圧
治療	注射, 内服, 運動	注射, 内服, 運動

共通点が多いことから生活習慣病診療の延長で骨粗鬆症診療は可能と思われる



図3

速報!

地域医療支援病院の認可を受けました

平成30年8月29日付で兵庫県知事から医療法に基づく「地域医療支援病院」の認可を受けました。認可を機に登録医の先生方はじめ地域の医療機関との医療連携を更に強化し、地域にお住まいのみなさまが安心して生活していただけるよう努めてまいります。

新入職医師のご紹介



循環器内科医長
よしかわ ぶみつぐ
芳川 史嗣

専門分野 ● 循環器内科一般
7月より川崎病院で勤務させて頂いております。地域に貢献できるように頑張っていますので、よろしくお願い致します。



歯科口腔外科医員
よねざわ なつぎ
米澤 奈津季

専門分野 ● 口腔外科
7月より川崎病院で勤務することになりました。近隣の先生方と連携し、患者さんに寄り添った医療を提供できるように努める所存です。今後ともよろしくお願い致します。

専門外来がさらに充実しました

7月より乳腺外来の診察日を追加しております。また、不整脈の診断と治療を目的とした不整脈外来を新たに開設しました。乳がんや不整脈の患者さんがいらっしゃれば是非ご紹介ください。

乳腺外来

診察日：火曜日午前
担当医：神戸大学 乳腺内分泌外科 教授 谷野 裕一

不整脈外来

診察日：第1・3・5金曜日午前
担当医：循環器内科 医長 高橋 怜嗣

予約方法

ご予約は地域医療連携室 (tel: 078-511-3133 fax: 078-511-3297) までお申し込みください。

専門特殊外来等担当医表

学会などの諸事情により代診、休診になる場合もあります。専門特殊外来は原則、予約(または一般外来の受診)が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)				
内科	午前	大塚 章人 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	桑迫 崇裕 【予防接種外来】	村井 潤 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	関谷 博樹 【神経内科外来】	市原 紀久雄 【糖尿病外来】	吉崎 飛鳥 【呼吸器外来】
	午後	粕本 博臣 【腎臓外来】	久保 聡子 【糖尿病外来】	村井 潤 【糖尿病外来併設外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	吉岡 潤哉 【呼吸器外来】	中村 正(第1・3・5) 酒井 保奈(第2・4) 【禁煙外来】	長谷 善明 【腫瘍外来】	飯田 正人 【血液外来】
消化器内科	午前	前田 哲男	野村 祐介	前田 哲男	野村 祐介	西田 悠
総合診療科	午前	高井 研次	松田 守弘	松田 守弘	高井 研次
循環器内科	午前	担当医 【心臓血管外科外来】(注)	高橋 怜嗣 (第1・3・5) 【不整脈外来】
	午後	(第1・3) 【ペースメーカー外来】
外科	午前	谷野 裕一 【乳腺外来】	(第2・4) 【ストマ外来】 9:00 ~	木許 健生 (第1・3) 【乳腺外来】
	午後	阪尾 淳 【乳腺外来】 13:30 ~
整形外科	午前	河合 光徳 【人工関節外来(膝・股)】	戸祭 正喜 【スポーツ外来】
耳鼻咽喉科	午後	(第1・3・4・5) 【補聴器外来】要外来受診
形成外科	午前	【フットケア外来】
	午後	【レーザー外来】 完全予約制

(注)心臓血管外科外来では、心臓弁膜症などの疾患に対する外科的治療について検討を行い、手術適応症例については大阪大学心臓血管外科(患者さんの希望によっては近隣病院)に紹介致します。

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

(注)学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	肥満、高脂血症、痛風	中村 正(月曜 午前/水曜 午前)	整形外科	小児全般	戸祭 正喜 (月曜 午前)
	血液	飯田 正人(月曜 午前/水曜 午前/木曜 午前)		手全般	
	腎臓	辻尾 成人(月曜 午後)		スポーツ障害全般	
	糖尿病	市原 紀久雄(月曜 午前)		睡眠時無呼吸症候群	
循環器内科	消化器	多田 秀敏(火曜 午前/金曜 午前)	耳鼻咽喉科	中耳炎	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) 土曜日は第3・5のみ
	冠動脈疾患	全医師が対応致します		アレルギー性鼻炎	
	末梢動脈疾患			副鼻腔炎	
	心不全			扁桃炎	
外科	骨粗鬆症	西堀 祥晴(月曜 午前/木曜 午前)	形成外科	声帯ポリープ	村上 英毅 (月、火、木、金 午前)
	消化器癌の外科的治療 (近年は腹腔鏡手術に 力を入れております)	谷川 隆彦(月曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)		突発性難聴	
		木村 聡宏(木曜 午前)		顔面神経麻痺	
		阪尾 淳(月曜 午前)		顔面骨折	
		星野 宏光(木曜 午前)		皮膚・軟部組織損傷(全身)	
		俊山 礼志(月曜 午前)		瘢痕・瘢痕拘縮	
*火曜日は交代制	眼瞼下垂症	全医師が対応致します			
*手術内容に応じて変更になることがあります	下肢静脈瘤(潰瘍を伴う重度の症例も対応)				
乳癌	阪尾 淳(月曜 午前)		感染症		
肝胆膵領域の悪性疾患	星野 宏光(木曜 午前)		腫瘍(悪性、良性)		
胆石症、虫垂炎、ソケイヘルニア などの外科的疾患	全医師が対応致します	顎骨骨折	歯科 口腔外科	インプラントおよび インプラントのための骨再生	
眼科	松場 真弓(火曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)			

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297